



## 児童発達支援 事業者向け自己評価結果表

事業所名 (特非)発達支援ネットワークつむぎ つむぎ高梁

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点	改善目標、手立て
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	2		状況に合わせて適切な関係にする配慮は意識できている。 <u>①放デイ、幼児共に人数が増え狭く感じる状況がある。</u>	①利用が増えたため再構造化し、プレイエリアを2つにしました。 ハード面をすぐに確保することは難しい状況です。利用人数などの調整をさせてもらいながら安全の確保もしていきたいと思います。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	1		児2名に対し1名の配置ができるように配慮している。 <u>①利用人数多くなると、配置があってもイレギュラーが起こると難しい時がある。</u>	①スタッフ数は限られていますし、ハード面との兼ね合いもあります。危険回避のため、利用児の人数の調整をさせていただく場合も出てきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	2		場所での構造化ができている仕切りの高さも配慮をしている。机の配置なども広さの範囲を確保できるようにしている。 <u>①構造化が足りてない部分、写真カードなどもある。</u> <u>②角度や状況によっては死角ができることもあり。スタッフの意識強化が必要な場合もある</u>	①今後も必要なものを付け足していくことは必要になります。 ②スタッフの意識を高めるため、プレイエリアに「気をつけるポイント表」を掲示するようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1	2		定期的に玩具の入れ替えができています。 <u>①棚に埃が残っていることや掃除機が残っていることがある。</u> <u>②活動内容や時間帯によっては少し手狭と感じることもある。</u>	①安全美化チェックにて毎月の確認と掃除をしています。また、毎日の片づけは徹底をしていきます。 ②1、2と同様です。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3			職員全体で情報を共有するツールがある。 必要な情報の共有、改善の為に知等実施できているように感じる。 <u>①正規職員以外でも、自主的に様々な点での気づきが出せる環境作りの必要性を感じる。</u>	①各スタッフがそれぞれの立場や視点から色々な気づきを発信してくれることがあります。また、別に聞く、定期面談などで聞き取りをしています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		3			今年度初取り組みとなっています。 スタッフの気づきと共通していることも件もあり、その都度改善するようにしています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ		3			今年度初めての取り組みとなっており、今回公表させていただいています。

		ジ等で公開しているか				
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	2	外部評価は行っていない
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	1		1か月に1回の研修を行っている。外部研修を受けた職員が、事業所内で研修発表を実施し、周知して情報を共有できる機会を設けており十分に感じる。また、アウトプットする機会にもなる為学びも深めやすいと感じられる。 <u>①知識、技能としてさらなる確保も必要と感じる</u>
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	2	1		通所支援計画の書式内に、保護者の思い・アセスメントの評価を合わせて確認できるようにしており、保護者説明時、アセスメントした内容を思いと関連付け説明を実施している。 <u>①アセスメントに職員の技術差はある。</u>
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3			アセスメントツールは標準化されたものを使用している
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1	2		<u>①ガイドラインに概ね沿っているが、健康面の気付きや療育内容について更なる支援も必要と感じる</u>
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3			計画に沿った支援は必須であり、徹底しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	2		運営者レベルが順番に行っている。状況に合わせて柔軟に変化可能なスキルを持ち合わせている。相談して個別化できている。基本的には、児童発達支援責任が年間計画として週案、月案の内容
	9					保護者から専門性を求められていることが多いです。自己啓発活動は今後も継続していきます。また、こういった情報をオープンにしていきたいと思えます。 ①スタッフからの希望研修も積極的に参加を可能にしていきたいです。
						①チームリーダーやスタッフリーダーのもと、レクチャーしながらアセスメントを実施しています。客観的評価の為、人によってばらつきが出ないよう、マニュアルも作成し、工夫をしています。経験の浅いスタッフに関しては、アセスメント場の積み重ねが必要になります。
						太田ステージ、心の理論、乳幼児KIDS、人との関わりハルットを活用しています。
						ガイドラインの再周知を行い、大事なポイントを共通理解できるようにしておきたいです。

					を構成している。		
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3			年間で計画的にねらいをもって活動を構成している。利用児が飽きないよう内容のサイクルも意識して構成できている。	固定化＝「継続的な取り組みによりスキル定着をさせる」という意味では固定化を大事にしていきます。ただし内容自体はねらいによってだんだんと発展していくものと考えます。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を敵宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	3			療育の軸として個別活動、小集団活動は必ず実施している。	つむぎは個別活動、集団活動を療育軸としている。今後も継続的に取り組んでいきます。	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		3		気になったことは直接聞くことや周知事項の確認は行っている。必要な打ち合わせは、随時行っている。運営の流れ、担当等は、書面に確認できる環境を整えている。打ち合わせを全体では実施していないが情報共有ツールを活用し一斉的及び個人発信している。	運営者が、必要なことは全体的にまたは、個別的に発信しています。現場で即座に必要なコミュニケーションもとれています。	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		3		気になったことは直接聞くことや周知事項の確認は行っている。必要な打ち合わせは、随時行っている。チームリーダーとの振り返りも実施する場合がある。		
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	1		記録は取れている。連絡帳としても活用している。 気付きに関しては、情報の発信から改善方法の検討へつなげる流が作られており、周知もスムーズできる体制にある。		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3			現在、アセスメント 1 か月半程度それ以降は半年ごとに見直すことを徹底しています。	今後も同様です。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	1		担当者が必ずしも入っていないが日頃利用児を支援しているスタッフが参加している。	関わりのあるスタッフが参加していくようにしています。今後も同様です。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3			保健師、こども未来課、教育委員会などのつながりがある。保健師は見学にはほぼ同行してくる。スクラム会議に医療機関が参加する場合もある。	高梁市としての体制もあるため、引き続き連携をとっていただける状況です。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども				該当児なし	

	等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか						
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				該当児なし		
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3			保護者のご希望により実施します。	これまで幼児期に療育を終了して園のみに通われたお子さんはおられません。	
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	1		保護者の同意により、2~3月に必ず実施している。	移行支援シートを今後も保護者スタッフで作成し共通理解のもと移行会議に参加していきます。	
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			3	スクラム会議などで他事業所と一緒にすること、他事業所からの見学もあるが助言、研修までは至っていない。	今年でも他法人や保育園関係などから見学をいただいています。助言というよりは、統一的な支援のための共通理解を目的としています。	
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				3	他園との交流はない。	
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3			高梁市自立支援協議会児童部会に在籍。イベントでの役割、活動参加あり。	保護者にもイベント等の情報を通信などで伝えて参加してもらうよう声かけはしています。	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	1	2		療育の情報はお迎え時に伝えている。ケースによっては、共通理解までは難しい。 お迎えが祖父母の場合、課題よりは、様子を伝えるようにしている。	お迎え時、送り時などに必ず子どもの様子をお伝えしています。相談が必要と判断されるような案件に関しては事業所内相談を提案しています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3			ペアレントトレーニングを上半期に実施。保護者向け学習会を2か月に1回実施。	次年度も取り組みを実施予定としています。	

		ているか				
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		3		1 時間程度の説明を行っている 契約時に説明しており、必要な説明は今後も付け加えていく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	2	1		
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3			事業所内相談の情報も提供し、必要に応じて希望がある時には実施。 今後のご相談事がある場合は、お知らせください。
	35	父母の会の活動を支援し、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	1		親の会ハッピーサークルの事務局をしている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3			事業所内相談体制を整えており、受付者から相談対応者へ即座に情報が行くシートがある。 今後のご相談事がある場合は、お知らせください。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3			担当制で、週に 1 回通信を発行し、情報発信を行っている。 その他は facebook や通信号外。 今後必要に応じて発信をしています。保護者の方がイメージしやすいよう内容を工夫していきたいです。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	2	1		注意している。但し、構造化上、玄関先の靴箱に名前を貼っている。 ホームページ、通信に載せる写真の配慮は実施。 外部に漏らさない工夫はしています。書類管理は鍵つきロッカーに入れる。写真などは保護者の了承を得ています。構造化上必要な写真は利用させてもらっています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	2	1		

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関われた事業運営を図っているか		2	1	立ち上げ当初内覧会実施。 必要に応じて見学は可能であるが、招待は行っていない。 ボランティアや実習生の受け入れは実施している。	行事等の実施がないため、地域住民を招くようなことはしていません。講演会などの案内は出していただけだと思います。ボランティアや実習生の受け入れは、利用保護者の了承を得て受け入れています。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか			3	各種マニュアルがあり実施。 防犯は作成中。 <u>①想定訓練は行っていない</u>	マニュアルを保護者にオープンにはしていません。防犯は現在作成中です。感染は汚物処理など部分的にはあります。説明ができるように整えていきたいと思います	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1		2	年2回実施している。	1回目は夏に実施しました。次回はH31、1月予定です。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか		2		1	てんかんは必ず確認している。 予防接種歴まではなし。 投薬をしている場合は、保護者かのお薬手帳等のデータも提供してもらっている。状況の確認が遅れていることもある	てんかんは詳細を保護者に記入してもらうようにしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		2		1	アレルギーがある場合は、外注弁当の提供なし。おやつに関しては保護者の了承を得たものを食べるようにしている。	アレルギー表やおやつ棚に一覧表を掲示し、手違いがないように徹底しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		2		1	積極的に活用している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1			2	年1回は行っている。	スタッフ研修の中で実施しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか				3	重要事項説明書には含まれているが、 <u>①通所支援計画にはのっていない。</u>	こういった状況が予測されると判断した場合は、保護者への説明のもと、該当の方に関しては計画書に記入させていただきます。

(特非) 発達支援ネットワークつむぎ H30. 9.1～